授業計画（シラバス）

■科　目	歯科放射線学	■講師名	徳永 悟士
Ⅱ部２学年	前期	１５コマ（1ｺﾏ 90 分授業）	総時間 30 時間　講義 2 単位

■学修概要

歯科医業として日々行われている放射線検査がどのような位置づけにあるかを、原理的な事項から実践的な手技を含めて講義を行う。

■授業目的、到達目標

放射線は歯科臨床において欠かすことのできない一分野であり画像機器の進歩に伴い診断における画像検査の占める割合が増えつつある。しかしながら放射線は放射線障害という問題をかかえているために放射線の利益および害を理解し、人体における放射線の生物学的影響や防護が重要となっている。これをふまえて将来歯科衛生士になるにあたり、自身の役割を認識し、放射線を安全かつ有効に扱えるようになるために必要な基礎知識を習得することを目的とする。

■授業方法

パワーポイントを用いたスライド形式

■教科書（書籍名・出版社）

歯科衛生士講座／歯科放射線学　　永末書店

■成績評価・講義上の注意

成績は定期試験、平常試験、出席状況および受講態度等の総合評価をもって行う。

■実務経験

担当教員は歯科医師であり、現在大学病院放射線科にて勤務しており、その経験を生かして歯科衛生士の養成に寄与する講義を行う。

■授業計画（講義の流れ）

1	歯科医療と放射線
2	エックス線とその性質
3	放射線の人体への影響
4	エックス線フィルムとデンタル画像
5	口内法エックス線検査
6	パノラマエックス線検査
7	口外法エックス線検査
8	CT
9	MRI
10	超音波検査・核医学検査
11	歯および歯周組織の病変・炎症性疾患の画像診断
12	嚢胞および腫瘍の画像診断
13	放射線防御の基本概念
14	放射線治療
15	定期試験、解答解説